

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和5年度相模原市障害者差別解消支援地域協議会（書面開催）		
事務局 (担当課)	高齢・障害者福祉課 電話042-707-7055（直通）		
開催日時	令和6年2月22日（木）～令和6年3月7日（木）		
出席者	出席 18人 欠席 5人		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由	書面会議のため		
会議次第	<p>1 議題</p> <p>（1）相模原市障害者差別解消支援地域協議会について</p> <p>（2）障害を理由とする相談事例等について</p> <p>（3）障害者差別解消法の改正と障害者差別解消に関する取組について</p> <p>（4）その他</p>		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(審議を書面等で行った理由)

令和6年2月6日(火)に開催予定であったが、悪天候により、会議を開催することが困難であったため、書面により委員から意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 議 題

(1) 相模原市障害者差別解消支援地域協議会について

(玉手委員) 年1回の会議であること、事例など文面以外の説明も聞きたいことなどから、可能な限り対面で実施していただきたい。

(新井委員) まだまだ差別はあり、すぐには無くならないと感じる。

(榛澤委員) 相模原市は、津久井やまゆり園事件が起きた自治体のため、どこの自治体よりも障害者の差別解消に取り組まなければならないと考える。協議会の委員の選出方法についても、再検討したほうがよいと考える。

(2) 障害を理由とする差別の相談事例等について

(川合委員) 多くの事例で適切な対応がなされたと思う。また、3-4の事例についても、しっかりと再発防止策がとられていると思う。

(大木委員) 最近はタブレットでのサインを求められることがある。障害がある方たちへの配慮がもっと必要だと感じるので、行政から事業者への働きかけが重要になると考える。

(榛澤委員) 精神障害者が差別されていると感じる場面として、部屋を借りるときにも多いと感じている。対策として、障害者を雇用した場合の「障害者雇用助成金」のように、障害者に部屋を貸すと助成金が出る等、不動産屋や大家にメリットがある仕組みや、就労分野での雇用率のように一定の割合で障害者に部屋を貸す。率を下回ると「障害者雇用納付金」のような罰金を取られるような仕組みを作るなど改善策の検討をしてほしい。また、就労のための支援があるように、地域生活で平穩に暮らすための知識を学ぶ機会を作る支援なども必要と考える。

(茂泉委員) 事例を2件紹介

(小林委員) 事例を2件紹介。

・2階にある飲食店(エレベーターがなく、階段のみ)に車いすのお客様が来店された際に、営業中は対応が難しい旨を伝え入店拒否を行った。後日飲食組合に本人から連絡があった。

・盲導犬を連れての方が入店した際に、店主は快諾したが、店内にいる他のお客様が拒絶。店主は人的トラブル回避のために、最終的に入店拒否を行った。

(新山由子委員) 事例を1件紹介。

・先日、障害のあるお子さんが発熱の症状が出たため、小児科医に電話をし、診察を受けようとしたが、障害があるため、診ることは出来ないと、断られてしまった。幸い別の小児科医で受けてもらえたそうだが、重症化する可能性を考えるとそのような事例は不安である。

(3) 障害者差別解消法の改正と障害者差別解消に関する取組について

(茂泉委員) 取組を2件紹介。

・法務省の人権擁護機関では、車いすや障害者スポーツ体験、パラリンピアンによる講話と組み合わせた人権教室など、様々な人権啓発活動に取り組んでいます。

・普段、法務局に出向くことが困難な入所者やその家族が、施設内で気軽に相談できるよう、障害者支援施設等において、特設の人権相談所を開設するなどの取組を行っています。さらに、障害のある人と身近に接する機会の多い社会福祉事業従事者等に対して、人権相談活動について周知・説明し、人権侵害事案を認知した場合の情報提供を呼び掛けるなど連携を図っています。

(玉手委員) 取組を1件紹介。

・法人内の新採用職員研修で障害者差別解消法に係る研修の時間を設けている。

(4) その他

(新井委員) 私も夫婦で障害者です。外出した時にはトイレに困ります。色々な方が使用しますから、1か所では足りません。健康な方はどこでも入ることができるのに、障害者は1か所を待たなければならない。これも差別だと感じる。

(榛澤委員) 条例の成立には多くの人の賛成や賛同や共感が必要だと考えるが、人権団体や障害者団体をはじめ多くの反対があります。これだけの反対が多い中、施行後に人権尊重のまちづくりが実現するのか疑問に感じる。

(定形委員) 差別実態の感じ方は、立ち位置に由来することが大きいと思うので、条例を作ろうとする市は、差別される側に立って差別の実態を捉え解

消できる条例を作って欲しいと思う。そうした条例ができることで、市民も差別について、また、人権について考え始めるきっかけとなり、相模原市が優しく住みやすい町になっていくのではないのでしょうか。
(大木委員) 障害者のタクシー券は存続すべきと考える。

以 上

相模原市障害者差別解消支援地域協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	鈴木 秀太郎	相模原市地域包括ケア推進部 部長	会長	出席
2	茂泉 尚子	横浜地方法務局相模原支局 総務課長		出席
3	栗原 賢治	相模原公共職業安定所 次長		出席
4	山本 高生	神奈川県相模原警察署 警務課住民相談係		欠席
5	笹森 孝昭	神奈川県相模原北警察署 警務課住民相談係		出席
6	藤田 将人	神奈川県相模原南警察署 警務課住民相談係		欠席
7	生亀 健一	神奈川県津久井警察署 警務課住民相談係		出席
8	川合 きり恵	神奈川県弁護士会		出席
9	廣瀬 憲一	一般社団法人相模原市医師会 理事		出席
10	布施 昭愛	相模原商工会議所 事務局長		欠席
11	小林 英樹	神奈川県飲食業生活衛生同業組合相模原支部総務部長		出席
12	玉手 邦明	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
13	野沢 重幸	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 事務局長		出席
14	谷澤 藤男	相模原市障害福祉事業所協会 副会長		欠席
15	新井 清美	相模原市身体障害者連合会		出席
16	新山 由子	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
17	新山 明日香	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		出席
18	定形 和子	みどり会（相模原市精神保健福祉家族会） 副会長		出席
19	榛澤 昌高	精神障がい者仲間の会（あしたば会） 事務局長		出席
20	高橋 和也	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
21	大木 恵	相模原市自治会連合会 理事		出席
22	奈良 信	相模原人権擁護委員協議会		欠席

23	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事		出席
----	-------	----------------------	--	----